

現代社会と私たち

学習1 私たちと持続可能な社会

□現在の世代だけではなく、将来の世代も満足できる「**持続可能な社会**」をつくるため、2015年の国連サミットで**SDGs**（持続可能な開発目標）が採択されました。これらの目標を達成するため、積極的に**社会参画**をしていくことが私たちに求められています。

学習2 情報化が進む現代

□あらゆるモノがインターネットにつながり（IoT）、**情報通信技術**（ICT）が大きく進歩したことで、SNS（ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス）などを利用して世界中の人々と情報を送受信することができるようになってきました。社会において情報が果たす役割が大きくなっていく**情報化**が進展しています。

□**情報社会**においては、**個人情報**の慎重な取り扱いや、情報を正しく判断して活用する力（**情報リテラシー**）が求められています。

□膨大な情報を集めて、瞬時に処理して結論を出す**ビッグデータ**の活用が進んでいます。現在、このような機能をもつ**人工知能**（AI）が社会のあらゆる場面で活躍しています。

学習3 グローバル化が進む現代

□海外を訪れる日本人や日本を訪れる外国人の数は年々増えており、私たちと世界各国とのつながりは深まっています。このように世界が一体化していくことを**グローバル化**といいます。

□グローバル化の進展により、**国際分業**が進んで、各国が互いに強く依存するようになるとともに、**国際競争**も激しくなっています。

□世界の結びつきが強くなるなかで、**国際協調**を通じた課題の解決や**多文化共生**の重要性も高まっています。

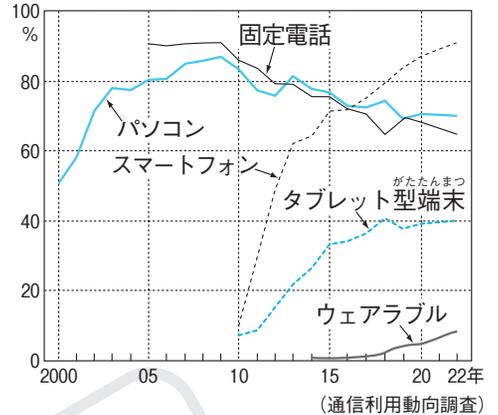
学習4 少子高齢化が進む現代

□現在、未婚率の上昇や晩婚化により一人の女性が産む子どもの数が減少し、医療技術の進歩により平均寿命が延びたことによって**少子高齢化**が進んでいます。このような社会を**少子高齢社会**といいます。社会保障費が増える一方で、人口減少にともなう経済的な負担の増加も大きな課題となっています。

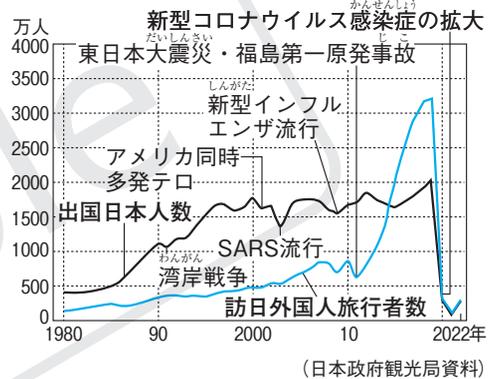
□家族の形は多様化しており、親と未婚の子ども、あるいは夫婦のみの**核家族**世帯や、一人暮らしの**単独世帯**が増えています。

□高齢化対策として、公共施設を**バリアフリー化**する取り組みや、**介護**が必要な人を支援するしくみが整えられています。

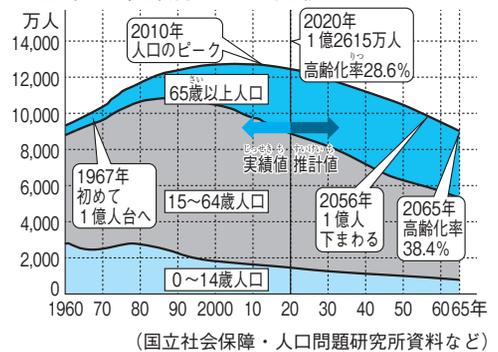
▼主な情報通信機器の保有状況



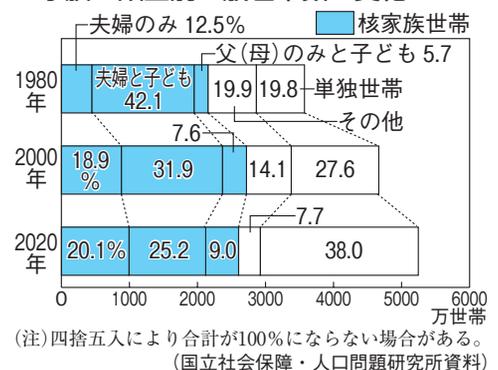
▼出国日本人数と訪日外国人旅行者数の推移



▼日本の年齢別人口の推移



▼家族の類型別一般世帯数の変化



学習5 生活に息づく文化

- 人間の生活に欠かせない生活様式や、人々が形づくってきたものを**文化**といいます。文化は私たちの生活をより豊かにします。
- 文化には**科学**、**芸術**、**宗教**などの領域があります。科学の発展は人々の暮らしを向上させ、芸術は感受性を高めて人生を豊かにし、宗教は悩みや不安を抱えた人々に安心感や精神的な豊かさを与えてきました。
- グローバル化が進む現代では、**文化の画一化**も見られますが、お互いに文化の違いを理解し、相手の文化を尊重する**異文化理解**が、多文化共生社会を目指すために求められています。

学習6 日本の文化とその継承

- 年中行事**や、能、歌舞伎をはじめとする芸能などは、長い歴史の中で生まれ、伝えられてきた**伝統文化**です。少子高齢化や過疎化で存続が危ぶまれる文化もあり、国や地域は文化財保護法に基づいて有形、無形の文化財の保存に努めています。

note 日本の多様な文化

- ・**琉球文化**…琉球王国があった沖縄や奄美群島で生まれた文化。
- ・**アイヌ文化**…北海道や千島列島の先住民族が受け継いだ文化。

学習7 社会的存在として生きる私たち

- 私たちは、**家族**や学校、**地域社会**といった**社会集団**のなかで生活しています。社会集団の一員として助け合い、尊重し合いながら生活を豊かにしているため、人は**社会的存在**であるといわれます。
- 私たちが暮らす社会では、考え方や意見の違いから**対立**が起こった場合、話し合いや交渉などを通して**合意**を目指します。

学習8 効率と公正

note 対立からよりよい合意へ

- ・**効率**…できるだけ少ない資源などをむだなく使うことで、全体として最大の利益を得られるような結果になっているかどうかを大切に考える。
- ・**公正**…みんなが話し合いに参加しているか、一人ひとりに最大限配慮したものになっているかを大切に考える。

学習9 私たちときまり

- 同じような対立が起こるのを防ぐには、集団内や集団間で**きまり**をつくっておくことが必要です。人々が合意してきまりをつくることを**契約**といいます。きまりを守ることで互いの**権利**や**利益**が保障されます。また、みんなで決めたきまりである限り、それを守る**責任**と**義務**が生じます。

▼日本の主な年中行事

| 月 | 年中行事 |
|----|---------------|
| 1 | 正月 初詣・年賀 七草 |
| 2 | 節分 |
| 3 | ひな祭り 春の彼岸 春祭り |
| 4 | 灌仏会 |
| 5 | 端午の節句 田植え祭り |
| 6 | 更衣 |
| 7 | 七夕 盂蘭盆・中元 |
| 8 | 盆踊り |
| 9 | 菊の節句 秋の彼岸 |
| 10 | 更衣 秋祭り |
| 11 | 七五三 |
| 12 | 除夜 |

▼合意を検討する観点

効率の側面

- ・問題の解決により得られる効果が、それにかけた時間や労力、費用に見合っているか。
- ・時間や費用にむだはないか。

公正の側面

- ・みんなが決定に参加したか（手続きの公正さ）。
- ・参加する機会が不当に制限されていないか（機会の公正さ）。
- ・得られる結果が不当ではないか（結果の公正さ）。

▼決定を行う方法の例

| | 長所 | 短所 |
|---------|------------------|----------------------|
| 全員一致 | 全員が納得して決められる | 決めるのに時間がかかることもある |
| 多数決 | 意見が反映される人の数が多い | 少数意見が反映されにくい |
| 代表者が決める | 全員で決めるより時間がかからない | 全員の意見がうまく反映されないこともある |
| 第三者が決める | 利害に関係ないため早く決まる | 当事者が納得しないこともある |

確認問題

●一問一答● 次の問いに答えなさい。

学習1・2

- (1) 現代の生活の質を落とさずに、将来の世代も質の高い生活を維持することのできる社会を何というか。 2015年にはSDGsが採択された。 (1)
- (2) 情報の働きが大きな意味をもつようになった社会のことを何というか。 情報通信技術(ICT)の発展が大きな影響を与えた。 (2)
- (3) ビッグデータをもとに考え判断する人間の知能のような働きをするコンピュータの機能を何というか。 (3)
- (4) 情報の正しさや価値を判断し、情報の受信や発信などにおいてよく考えて行動する能力のことを何というか。 (4)

学習3・4

- (5) たくさんの人、もの、お金、情報などが、国境を越えて行き交うことで、各国が互いに依存を強め、世界の一体化が進むことを何というか。 (5)
- (6) 各国が競争力のある得意な産業に力を入れて輸出し、競争力のない不得意な産業については輸入に頼ることを何というか。 (6)
- (7) 親と未婚の子ども、あるいは夫婦のみで構成されている家族を何というか。 現代の日本では、単独世帯とともに割合が高くなっている。 (7)
- (8) 高齢者や障がいのある人が生活するのに、物理的・精神的障がいとなるものを取り除くことを何というか。 (8)

学習5・6

- (9) 人々が地域の風土や伝統、歴史、他地域との交流などによって形づくり、伝え合ってきた生活様式や価値観を何というか。 (9)
- (10) (9)の1つで、従来は不可能だったことを可能にし、人々の暮らしを向上させるのに寄与している領域を何というか。 (10)
- (11) 互いに(9)の違いを理解し、相手の(9)を尊重することを何というか。 多文化共生社会を目指すために求められている。 (11)
- (12) 正月やお盆など、毎年繰り返される行事のことを何というか。 ほかに3月のひな祭りや5月の端午の節句、11月の七五三などがある。 (12)
- (13) 人々が過去から受け継ぎ、未来へ伝える文化(歌舞伎・茶道・和食など)を何というか。 (13)
- (14) 沖縄や奄美群島を中心に成立した文化を何というか。 エイサーとよばれる沖縄の伝統的な踊りなどがある。 (14)
- (15) 北海道や千島列島などの先住民族の人々が受け継いできた文化を何というか。 アットゥシとよばれる伝統的な衣服などがある。 (15)

学習7・8・9

- (16) 私たちが生活している家族や地域社会、国など、共通の意識や目的をもって結び付いている人間の集まりを何というか。 (16)
- (17) 意見の違いから人々の間で対立が起きたとき、問題を解決し、社会を動かしていくために何をつくり出さなければならないか。 (17)
- (18) (17)をつくる時、できるだけ少ない資源などをむだなく使うことで、全体として最大の利益を得られるようにする考え方を何というか。 (18)
- (19) 同じような対立を防ぐために、あらかじめ集団内や集団間でつくる取り決めを何というか。 (19)
- (20) 人々が(17)をして、その決定を守るための(19)をつくることを何というか。 (20)

基本問題

1 右のグラフを見て、次の問いに答えなさい。

□(1) グラフのA・Bにあてはまるものを、次のア～ウから選びなさい。

- ア 固定電話
- イ ウェアラブル
- ウ スマートフォン

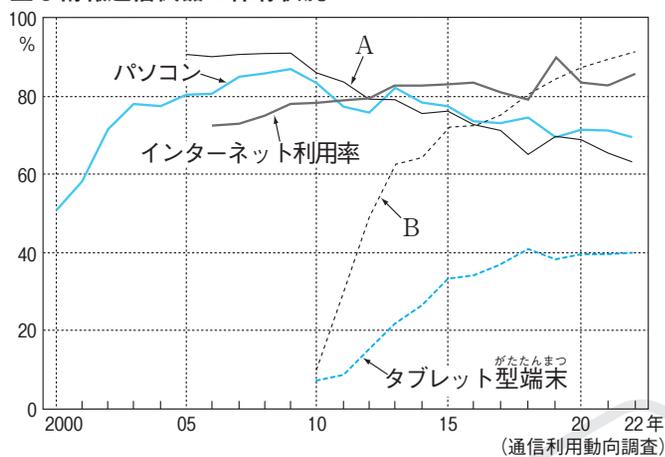
□(2) 2021年のタブレット型端末の保有率は約何%か。

□(3) グラフにあるようにインターネットが普及することによって、人々の暮らしは

どのように変わったか。あてはまるものを、次のア～エから選びなさい。

- ア 15歳未満の人口の割合が低く65歳以上の人口の割合が高い、少子高齢社会になった。
- イ 高度経済成長とよばれるいちじるしい発展をとげるようになった。
- ウ 世界のさまざまなところで自然災害や戦争が起こるようになった。
- エ 商品やチケットの購入を簡単に行うことができるようになった。

主な情報通信機器の保有状況

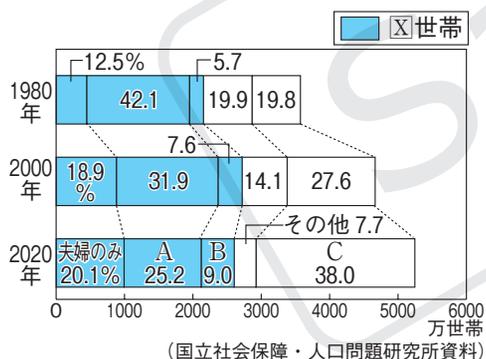


1

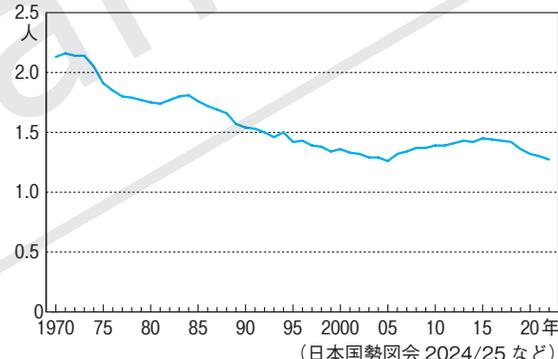
| | | |
|-----|---|---|
| (1) | A | |
| | B | |
| (2) | 約 | % |
| (3) | | |

2 次の図を見て、あとの問いに答えなさい。

図Ⅰ 家族の類型別一般世帯数の変化



図Ⅱ 一人の女性が生涯に生む子どもの数



□(1) 図Ⅰに [] で示された [] の家族を何というか。

(2) 次の①～③の世帯は、図ⅠのA～Cのどれに含まれるか。

- ① 高齢者が一人で住む世帯
- ② 父親と母親、子ども二人で住む世帯
- ③ 母親とその子どもが住む世帯

□(3) 図Ⅱのように、一人の女性が生涯に生む子どもの数が減少し、年少人口が少なくなっている傾向を何というか。

(4) 次の①～④の文のうち、正しいものには○、誤っているものには×を書きなさい。

- ① 女性の社会進出で共働きが増えたため、三世代家族の割合は高くなってきた。
- ② 少子高齢社会で長生きする人が増えるため、若い世代の経済的負担は小さくなる。
- ③ 家族生活が多様化してきたため、地域の住民との助け合いは必要でなくなった。
- ④ 子どもの保育や高齢者の介護は大変であるため、家族や親族のほか、地方公共団体や国の支援が必要である。

2

| | | |
|-----|---|--|
| (1) | ① | |
| | ② | |
| (2) | ③ | |
| | ④ | |
| (3) | | |
| (4) | ① | |
| | ② | |
| | ③ | |
| | ④ | |

練習問題

1 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

近年、情報通信技術である（ ① ）が進歩したことにより、情報の働きが大きな意味をもつようになる情報社会へと変化するとともに、② たくさんの物、お金、情報などが国境を越えて行き交うようになった。このような③ 情報化の進展は、私たちの生活にさまざまな恩恵をもたらした反面、コンピュータによる情報の受発信により、人に知られたくない情報が流出するという問題なども出てきている。情報社会を生きる私たちには、（ ② ）の取り扱いに十分な注意を払ってプライバシーを保護することや、情報を正しく判断して活用する「情報（ ③ ）」が求められている。

□(1) 文中の①～③にあてはまる語句を書きなさい。ただし、①は情報通信技術の略称をアルファベットで書きなさい。

□(2) 下線部②について、次の文中のA～Cにあてはまる語句を書きなさい。

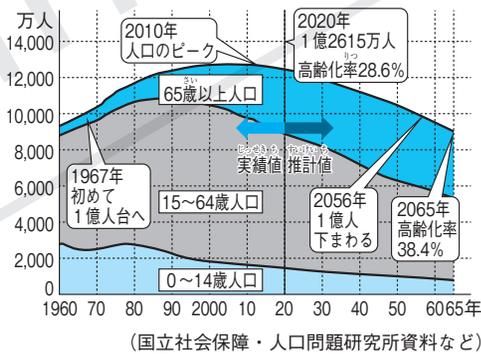
たくさんの物、お金、情報などが国境を越えて行き交うことで（ A ）化が進み、企業間の国際（ B ）が高まる。国際（ B ）が加速すると、得意な産業に力を入れる一方、不得意な産業については輸入に頼る国際（ C ）が行われるようになる。

□(3) 下線部③により が急速に進化し、言語の理解や問題解決など、これまで人間にしかできなかったことを、コンピュータなどに代行させることができるようになってきている。 にあてはまる語句を書きなさい。

| | | |
|-----|---|--|
| | ① | |
| (1) | ② | |
| | ③ | |
| | A | |
| (2) | B | |
| | C | |
| (3) | | |

2 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

右のグラフは、日本の年齢別人口の推移を表している。日本の人口は（ a ）年をピークに減り始めている。また、（ b ）歳の年少人口の割合が低く、（ c ）歳以上の老年人口の割合が高くなっている。



□(1) 文中の a～c にあてはまる数字を書きなさい。

(2) 文中の下線部について、次の問いに答えなさい。

□① 下線部のような社会を何というか。

□② 下線部のような状況が今以上に進むと、どのようなことが起こると考えられるか。次のア～エから選びなさい。

ア 情報の伝達量が減る。

イ 若者の経済的負担が減る。

ウ 医療費が減る。

エ 労働人口が減る。

□(3) 次のア～エの中で、それぞれの項目の数値を1960年と2024年とで比較した場合、2024年の方が小さいものを選びなさい。

ア 1世帯あたりの人数

イ 女性が結婚する平均年齢

ウ 日本で暮らす外国人の数

エ 男性の平均寿命

| | | |
|-----|---|--|
| | a | |
| (1) | b | |
| | c | |
| | ① | |
| (2) | ② | |
| (3) | | |

